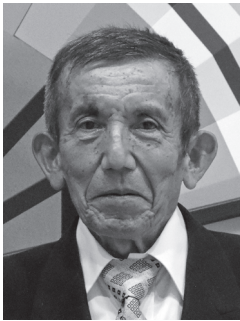


功 勞 者 表 彰

宇都宮 義明 氏（地方自治功労）



平成15年に津久見市選挙管理委員会委員に就任され、平成27年から令和元年までは委員長として、多くの選挙に携わり、安全・

安心かつ円滑な選挙執行により、当委員会の円滑な運営にご尽力されました。さらに初めて高校生による投票事務の補助を採用するなど若年層に対する啓発活動や投票率の向上に努められ地方自治の推進に多大な貢献をされました。

渡邊 勝 氏（産業経済功労）



有限会社や丸代表取締役として市より一般旅客定期航路事業の経営を譲り受け、平成2年10月から令和4年9月まで津久見港と

保戸島とを結ぶ唯一の離島航路事業を経営されました。本年10月からは市が事業主体となって運営しておりますが、運航受託者として引き続き協力いただいております。これまで離島住民の利便性の確保並びに地域の発展に大きく寄与され本市の産業経済の振興に多大な貢献をされました。

岩崎 賢一 氏（産業経済功労）



市内にて電気工事業を営む傍ら、昭和51年に大分県電気工業組合津久見支部に加入され、平成23年からは副支部長に就任し、現在に至るまで約46年間、港祭りや扇子踊り大会など本市の様々なイベントに携わり、類まれなる技術を用いて配線工事や電圧検査等の業務を担われ本市の産業経済の振興に多大な貢献をされました。

加茂 國弘 氏（産業経済功労）



市内にて菓子製造販売業を営む傍ら、昭和35年に津久見市菓子工業組合に加入され平成2年からは会長に就任し、現在に至るまで

約62年間、類まれなる技術を駆使し地元の特産資源であるみかんを使用したサンクイーンカステラやみかんどら等、観光需要の基盤となる土産品開発などに取組まれ本市の産業経済の振興に多大な貢献をされました。

酒井 清行 氏（社会体育功労）



平成3年に千怒サッカースポーツ少年団を設立し同時に監督に就任され、30年以上にわたりジュニア育成に取り組み、競技人口の拡大や普及に尽力される傍ら、津久見地区の審判委員長及び技術委員長として、審判員の技術向上やサッカー競技の技術向上に尽力し、本市の社会体育の振興に多大な貢献をされました。

津久見市文化協会（文化功労）



昭和46年の設立以来50年にわたり、初代左脇日出登会長から五代目松本猛会長に至るまで、会長を中心に毎年欠かさずことなく津久見市文化祭を開催し、また、市の主催するチャリティーショーやふるさと振興祭、県内外の文化行事に積極的に参加され、本市の文化活動の振興に多大な貢献をされました。（写真は会長の松本猛氏）

感 謝 状

野崎 武成 氏（教育費寄附）



教諭として第一中学校在職時に、大分大学への内地留学の機会を与えていただいたことが今の自分の礎になったとの感謝の思いから、ふるさとへの恩返しとして、令和6年に開校予定の新設中学校へ多額のご寄附をいただきました。

太平工事株式会社（一般寄附）



津久見市の主に障がい福祉行政への活用にと、多額のご寄附をいただきました。また代表取締役の中村謙助氏は平成27年から津久見市身体障害者福祉協議会の会長として、本市の福祉の向上に資する活動を積極的に行っていただいております。（写真は代表取締役の中村謙助氏）

永きにわたるご功績に感謝します



津久見市 文化の日功労者表彰式 並びに感謝状贈呈式

11月3日、市民会館において「令和4年度 津久見市文化の日功労者表彰式並びに感謝状贈呈式」が行われました。今年度は、5名と1団体の功労者に表彰状および記念品、1名と1団体に感謝状が手渡されました。



御祝儀舞「長唄 新君が代」

